



農業理解研修

新たに小学生向け「出前授業」を開催

農業大学校は、これまで農業ふれあい研修として、園児や小学生等に来校いただき、牛の餌やり、野菜や花き等の栽培状況の見学、トラクタ・牛の写生などを通して農業に親しむ機会を提供してきました。

平成 29 年度からは新たに、小学校の授業に本校の技術職員が出向き農業を教える「出前授業」の取組を開始し、第 1 回「出前授業」を岡崎市立六ツ美中部小学校で開催しました。

第 1 回「出前授業」は、小学 2 年生 38 名を対象に、夏野菜の苗の植え方を学ぶ実習を行い、児童が育てたい野菜（ミニトマト、ナス、ピーマン、大豆）の苗を植えました。

苗を鉢に植える時は、浅めに植えることがポイントであることを話し、児童らは、本校の技術職員の見本を見ながら無事に各々の鉢に野菜苗を植えることができました。

本校職員が「よく観察して大切に育ててください。」と話すと、児童から「はーい!!」と元気な返事があり、生き生きとした表情から自分の野菜を育てることへの興味・関心の高さを感じることができました。

今後は、1 か月後頃に上手に育てるコツについて指導する方向で検討しています。

この取組により、小学生の野菜への関心が深まり、小学生のいる家庭の農業への理解の促進と愛知県の農産物の消費拡大に繋がることを期待しています。

(研修科 加藤夕子)



[苗の植え方の話を熱心に聴く児童]